2024年9月



**\*\*\*本プレスリリースは即日解禁となります\*\*\***

**プレスリリース**

**UNIOパーソナル・リファレンス・モニタリング**

**ソリューションをIBC 2024で発表**

**新たに登場した8550Aプロフェッショナル・リファレンス・ヘッドホンとAural ID V2.0バイノーラル・ヘッドホン・モニタリング技術により、Genelecが提唱する次世代のオーディオ・モニタリング「UNIO」エコシステムは、これまでにない最も正確で忠実なヘッドホン・リスニング体験を提供します。**

**フィンランド・イーサルミ、2024年9月……**Genelecは、IBC 2024にて、**[UNIOパーソナル・リファレンス・モニタリング・ソリューション](http://www.genelec.jp/unio)**を発表します。この唯一無二のソリューションには、**[9320A SAMリファレンス・コントローラー](https://www.genelec.jp/glm/glm-devices/9320a/)**、測定用リファレンス・マイクロホン、そして今回新たに登場した8550Aプロフェッショナル・リファレンス・ヘッドホンが含まれており、プロフェッショナルなインルーム・スピーカー・モニタリングとパーソナル・ヘッドホン・モニタリングの間に、圧倒的にシームレスなブリッジを構築します。また、**[GLMソフトウェア](https://www.genelec.jp/glm/)**内で利用可能なヘッドホン・キャリブレーション機能や、オプションのAural ID V2.0バイノーラル・ヘッドホン・モニタリング技術を使用することで、ユーザーは、これまでに経験したことがない、忠実に個人最適化されたヘッドホン・モニタリング体験を楽しむことができます。

「UNIO」エコシステムは、Genelecの**[スマート・アクティブ・モニター（SAM）](https://www.genelec.jp/sam-studio-monitors-subwoofers/)、**GLM（Genelec Loudspeaker Manager）キャリブレーション・ソフトウェア、そして個人最適化ヘッドホン技術である[**Aural ID**](https://www.genelec.jp/aural-id/)のパワーを、フィジカルなハードウェア・コントロールを実現する9320A SAMリファレンス・コントローラーを中核として連携させ、ユーザー自身の[**MyGenelec**](https://my.genelec.com/)アカウントを通じて管理/運用する仕組みとして、昨年のIBC 2023で発表されたコンセプトとなります。これは、高精度にキャリブレートされたスマート・アクティブ・モニタリング・システムとAural IDを備えたヘッドホンを組み合わせることで、ユーザーはモニターとヘッドホンの間で信頼性の高いミックスを楽しみ、スムーズかつシームレスなワークフローを維持できるという、新たなエコシステムの提案でした。

そして今回、Genelecは新しい8550Aプロフェッショナル・リファレンス・ヘッドホンの導入により、その基準をさらに高い次元へと大幅に昇華させました。革新的な設計を持つ8550Aヘッドホンは、同梱の9320A SAM リファレンス・コントローラーのヘッドホン出力に対して個別にキャリブレートされ出荷されます。このことにより、個別に個人最適化されたUNIOパーソナル・リファレンス・モニタリング・ソリューションに正確な解像度をもたらします。8550Aを9320Aのヘッドホン・ステージに正確にマッチングさせるこの方法により、卓越したリニアリティ、音響精度、色付けのないフラットでニュートラルな音質が実現され、Genelecのスマート・アクティブ・モニターがインルーム・スピーカー・モニタリング環境で提供するものと同様の精密なキャリブレーションが可能となります。

密閉型でオーバーイヤー・タイプの8550Aヘッドホンは、どのような頭や耳のサイズにも対応でき、優れた遮音性能と快適な装着感を提供します。また、耐久性の高いアジャスター・パーツ、交換可能なイヤーカップも用意されており、長寿命でサステブルな製品です。また、8550Aに搭載されている40mmドライバーは、高磁力ネオジム・マグネットを使用しており、15Hz〜20kHzの周波数応答（±0.3dB）、卓越したレベル・マッチング、9320A経由で119dBの短期SPLという高いスペックが実現されています。製品には、レザーとベルベットのイヤー・クッション、ストレートおよびコイル・ケーブルの両方が付属しており、どのようなユーザーにも、最高にプレミアムなヘッドホン・モニタリング体験を提供します。

8550Aヘッドホンのキャリブレーション・ファイルは、対応する9320Aコントローラー内に保存されており、まずは、システムに対して最適化されている状態となっていますが、GenelecのGLM 5キャリブレーション・ソフトウェアを使って、スロープの調整、パラメトリックEQ、L/Rバランス・トリムの調整をユーザー自身が行うことで、もう一段ステップアップした個人最適化を行うことが可能です。そして、最後に、オプション機能のAural ID V2.0を使うことにより、究極の個人最適化ヘッドホン・モニタリング体験が完成します。Aural ID V2.0は、ユーザーの頭部や上半身の特徴を動画で撮影することで高精細モデリングを行い、唯一無二の個人最適化された頭部伝達関数（HRTF）を計算して、リスナーに対して正確な仰角知覚と頭外定位を有するヘッドホン・モニタリングを提供し、インルーム・スピーカー・モニタリングと非常に近い空間と方向性の感覚を生み出します。

また、次世代バージョンへと進化したAural ID V2.0は、初期反射ルームモデリングと統合されたウェブカメラのヘッド・トラッキング機能により、ヘッドホン・モニタリング体験をさらに高めることに成功しました。これにより、頭部が動いても静止した音像定位によるリスニングが維持され、より自然なモニタリング体験が得られます。さらに、ハードウェア・ヘッド・トラッキング・デバイスのため、標準インターフェースとしてOpen Sound Control（OSC）をサポートしており、最大限のシステム互換性が提供されます。

Macでスタンドアロン・アプリとして動作するAural ID V2.0は、ステレオおよび最大9.1.6までのイマーシブ・モニタリングのための、最適化されたHRTFバイノーラル・オプション、さらにヘッドホンの音響効果を個別にイコライジングしたいユーザー向けに、HRTF内の方向性（DTF）および音色（CTF）成分への完全なアクセスを提供する「RAW HRTF」オプションを提供します。Aural IDの完全に個人最適化されたHRTFに加えて、Aural ID V2.0に標準として含まれる、KemarおよびKU100ダミーヘッドのHRTFを使うことにより、ユーザーの選択肢はさらに広がります。

この「UNIO」エコシステムの進化について、Genelecのマネージング・ディレクターであるシアマック・ナギアンは次のように述べています。「UNIOは現在、オーディオ・プロフェッショナルに対し、3つのレベルのリファレンス・モニタリングを提供しています。単に最高のインルーム・スピーカー・モニタリングを求める方は、スマート・アクティブ・モニター、GLM、および9320Aの組み合わせを選択することができます。さらに次のレベルとして、正確なヘッドホン・モニタリングを求める方は、8550Aをシステムに加えることをお勧めします。そして、3つ目のレベルとして、インルーム・モニタリングと個人最適化されたヘッドホン・モニタリングという究極の組み合わせを求める方には、UNIOパーソナル・リファレンス・モニタリング・ソリューションとAural ID V2.0の組み合わせ、つまり、これまでにない最も正確でポータブルなモニタリング・システムを提供します。」

さらなる詳細は、[**www.genelec.jp**](http://www.genelec.jp/)をご覧ください。

*\*\*\*以上\*\*\**

***Genelecについて***

*1978年の創立以来、Genelecはプロフェッショナル・スピーカーをビジネスの主軸としてきました。研究開発への飽くなき取り組みが革新的な技術を生み出し、Genelecはアクティブ・スピーカー業界を牽引する存在となりました。創立から45年経過した今でも、Genelecのスピーカー製品は当初の哲学を忠実に守り、サイズに関わらず信頼性の高いニュートラルなサウンド再生と、リスニング環境の音響条件へ適応する機能を提供します。Genelecユーザーは、音響的なアドバイスやキャリブレーション・サービス、テクニカル・サービス、そして長い製品寿命など、最高のサポートを受けることができます。Genelec製品の購入は、オーディオ再生システムに対する長期的にご使用頂ける堅実な投資となります。*

**お問い合わせ先：**株式会社ジェネレックジャパン ｜マーケティング

電話番号：+81(0)3 6441 0591　email：press@genelec.jp